

松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる施策の実績

基本目標1 しごとの創生

(1) 既存の魅力ある産業を育て、就業の機会を創出します。

数値目標 市内従業者数(工業統計調査) 100人増／5年

基準値(H30年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1,786人(H30実績)	1,780人				

○ 官民が一体となり、連携体制を構築し、地域の資源を磨き、魅力ある産業づくりに取り組みます。この魅力を地域内・外へ効果的にプロモーションし、本市の産業の魅力を知らせてもらうことで、更に価値を高めるとともに、域内の就業の機会を創出します。また、地元企業の増設や新規事業への展開について積極的に支援を行うことで雇用の創出に繋がります。

- ☆具体的な事業
- 1. 地場産業や企業の魅力について地域内・外への情報発信
 - 2. 中学生、高校生(近隣を含む)、保護者を対象とした地元企業紹介やインターンシップへの支援
 - 3. 地元企業人材育成への支援(セミナーや専門家の招へい)
 - 4. 地元企業設備投資支援
 - 5. 住宅や住宅用地の取得奨励制度の推進
 - 6. AIやIoTなどの先進的技術の活用推進
 - 7. 労働力支援による生産体制の維持拡大 など

評価指標名	担当課	基準値	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
インターンシップへの参加企業数	地域経済活性化課	29社(H30)	15社／年	未実施 (コロナ防止)				
合同企業説明会参加企業数	地域経済活性化課	14社(H30)	15社／年	12社				
合同企業説明会参加者数	地域経済活性化課	121人 (H27～H30)	100人／年	88名				
地元企業設備投資支援数	地域経済活性化課	7社(H30)	5社／年	1社				
確認申請における市内業者の建築割合	都市計画課	約5.5割(H30)	約6割	約4.4割				
AIやIoTなどの先進的技術の導入農家数	農林課	新規	30戸／5年	8戸				
1次産業における労働力支援人数	農林課	新規	延べ500人／年	227人				
	水産課			0人				
外国人労働者を雇用する経営体数	農林課	新規	10経営体／5年	0経営体				

○ 地域資源を活かした魅力ある農水産品、製品等づくりを行うとともに、地域の特色や生産者の思いなどをストーリーとして付加し、地域ブランド化を図り、所得の向上に繋がります。

- ☆具体的な事業
- 8. (一社)まつうら観光物産協会と連携し、地域資源を活用した商品開発及びブランド化などによる販売促進事業
 - 9. 水産業の生産性向上や営業力強化等による販路開拓
 - 10. 産品や製品、技術力などの魅力を発信するツールの作成(写真や映像等)
 - 11. 6次産業化への支援

評価指標名	担当課	基準値	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新たな商品開発品目数	地域経済活性化課	14品 (H27～H30)	9品／5年	0件				
	農林課			2品				
	水産課			26品				
新規販路開拓数	地域経済活性化課	12件 (H27～H30)	11件／5年	2件				
	農林課			2件				
	水産課			14件				

○ 商工業と連携して地域振興券を作成し、市が行う支援事業などにおいて活用し、域内消費を活性化することで産業の振興を図ります。

- ☆具体的な事業
- 12. 地域振興券の発行
 - 13. 新生活応援事業(ふるさと就職奨励金、賃貸住宅入居奨励金、新婚生活奨励金など)

評価指標名	担当課	基準値	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
地元購買率	地域経済活性化課	34.1%(H30)	35%	—				

松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる施策の実績

基本目標1 しごとの創生

(2) 新たな雇用の場を創出します。

数値目標 企業誘致等による雇用者数 30人増／年

基準値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
49人(H30年度)	49人				

数値目標 創業した人の数 8人／年

基準値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
6人(H30年度)	5人				

○ 企業立地に対する様々な支援制度を整備するとともに、積極的な企業訪問を行い、企業誘致を実現します。

- ☆具体的な事業
- 1. 企業誘致活動
 - 2. 事業用地取得に対する支援
 - 3. 新規雇用に対する支援

評価指標名	担当課	基準値	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
企業訪問数	地域経済活性化課	114社(H30)	100社／年	8社				
用地取得数	地域経済活性化課	3社(H27～H30)	2社／5年	0社				
新規雇用数	地域経済活性化課	166人(H27～H30)	30名／年	49名				

○ 域内に対し、創業環境の整備や6次産業化への積極的な支援を行うとともに、情報インフラ整備を進めることで都市部企業やベンチャー企業などのワーケーション、テレワーク需要にも対応できる環境の整備と誘致を行います。

- ☆具体的な事業
- 4. 創業への財政的支援
 - 5. 創業セミナーの開催
 - 6. 教職員等の住宅、官舎や空き家などを活用したチャレンジショップ事業・レンタルオフィス等の整備
 - 7. 情報格差解消に向けた情報インフラ整備促進
 - 8. 【再掲】6次産業化への支援

評価指標名	担当課	基準値	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
創業者数	地域経済活性化課	27人(H27～H30)	8人／年	5人				

松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる施策の実績

基本目標1 しごとの創生

(3) 交流人口を拡大します。

数値目標 年間交流人口数 890,000人／年

基準値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
864,330人(H30)	710,272人				

○ 体験型旅行における観光客の増大のため、大人、ファミリーや外国人向けの事業を展開し、更なる交流人口の拡大を図ります。

☆具体的な事業

- 1. 体験型旅行の民泊受け入れ家庭数の拡大支援
- 2. キャンプ場の再生整備
- 3. 交流の拠点である道の駅の整備拡充

評価指標名	担当課	基準値	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
体験型旅行における一般客の誘客数	地域経済活性化課	980人(H30)	2,000人／年	112人／年				
一人あたり観光消費額	地域経済活性化課	新規	日帰り8,300円／人 宿泊30,900円／人	8,810円／人 45,021円／人				

○ 福島地域・鷹島地域には域外から多くの人々を呼び込める施設、景観、歴史などの核となる観光資産とまつりなどのイベントがあります。この観光資産やイベントと産業を結び付け、産業の振興、生産性の向上とイベントの活性化を図ります。

☆具体的な事業

- 4. 福島全島公園化の推進と周遊観光の確立
- 5. 鷹島海底遺跡を観光コンテンツとしての活用
- 6. 研究者の来訪に資するため、鷹島海底遺跡の調査・研究成果の収集・公開システムの整備
- 7. 鷹島モンゴル村の整備拡充

評価指標名	担当課	基準値	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
福島地区における交流人口	地域経済活性化課	新規	80,000人／年	75,112人				
鷹島地区における交流人口	地域経済活性化課	新規	330,000人／年	300,663人				

○ 西九州自動車道の完成によって、福岡都市圏と本市は約70分で結ばれることになります。本市はこれまで、九州最大の都市である福岡都市圏に向けて、「松浦」を売り込んできました。これからも、本物の「グルメ」「体験」「歴史」という“宝物”をめざして、多くの人々が「松浦」を訪れるような取り組みを進め、交流人口の拡大を図ります。

☆具体的な事業

- 8. 福岡シティプロモーション事業の推進
- 9. 食を中心とした魅力発信
- 10. 西九州自動車道の整備とインターチェンジから地域に降りてもらうため、商業・観光施設等の整備促進(EV充電施設・トイレの整備など)
- 11. 西九州自動車道の整備と魚市場の再整備を絡めた魚市食堂や場外市場など、交流人口拡大への検討

評価指標名	担当課	基準値	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
福岡都市圏におけるインターネット調査による松浦市の認知度	地域経済活性化課	77.5%(H30)	85％／5年	81.8%				
観光消費額	地域経済活性化課	96億3,892万円(H30)	96億円／年	73億7390万円				

○ 松浦市を訪れる外国人との交流を通じ、地域経済を活性化するため、外国人観光客を積極的に受け入れる取り組みを進めます。

☆具体的な事業

- 12. 体験型旅行への受け入れ
- 13. 道の駅の免税店化への取り組み支援
- 14. 市内観光施設における公衆Wi-Fiの整備促進

評価指標名	担当課	基準値	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
外国人滞在数	地域経済活性化課	306人(H30)	1,000人／年	286人／年				

松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる施策の実績

基本目標2 ひとの創生					
(1) 結婚・妊娠・出産・子育ての包括的な支援を行います。					

数値目標 合計特殊出生率 2.07 (R2～R6)					
基準値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1.79(H25～H29)	1.63 (参考値)				

○ 結婚から妊娠、出産、子育てにおいて切れ目のない支援を行い、子どもを安心して産み育てることができるまちづくりを行います。

- ☆具体的な事業
- (出会い創出事業)
1. 結婚希望者のデータ化とマッチング
2. 官民連携による出会い創出イベントの開催
- (安心な妊娠、出産支援事業)
3. 不妊治療費の助成(特定不妊治療及び一般不妊治療)
4. 妊婦健診費の助成
5. わくわくマタニティ教室の開催
- (子育て世帯への経済的支援の充実)
6. 子ども医療費助成対象の拡大(市単独事業として小・中学生までの対象を更に高校生等まで拡大)
7. 保育料の基準額の見直しと保育所等入所の第2子以降無償化
- (子育て相談・地域子育て支援拠点の充実)
8. 子育て支援員の配置
9. 木育の推進
10. すくすく子育て応援(ベビー用品貸出)事業
11. 子育て支援センター及び放課後児童クラブの充実
12. オーダーメイド型子育て支援事業(「あなたの子育て応援します!」を掲げ、子育て支援員等を配置し、様々な子育て支援事業の中から各事業を組合せ、保護者1人ひとりにあった子育てを支援)
- (待機児童の解消)
13. 必要に応じて教育・保育の量を確保します。
- (仕事と子育ての両立への支援)
14. 各事業所に対し、子育て意識の啓発を行うとともに、延長保育など保育サービスの充実と放課後児童クラブの預かり時間の延長などを行います。

評価指標名	担当課	基準値	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
婚姻率	政策企画課	3.5%(H29)	4.0%(人口千人対)／5年	3.6%				
不妊治療費助成件数	子育て・こども課	21件(H30)	40件／年	22件				
保育所等入所の第2子以降無償化世帯数	子育て・こども課	318世帯(H30)	150世帯／年	160世帯				
子育て相談・地域子育て支援拠点における妊娠・出産・子育て相談件数	子育て・こども課	1,649件(H30)	1,700件／年	1,584件				
待機児童ゼロの継続	子育て・こども課	ゼロの継続	待機児童 0	0				

○ 本市の「子どもを産み育てやすいまち」について、地域内外へ効果的にPRし、子育て世代をはじめ若者の域外流出抑制と域内への流入を図ります。

- ☆具体的な事業
15. 住みたい・住み続けたいまちプロモーション事業

評価指標名	担当課	基準値	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
15歳～44歳までの社会増減数	政策企画課	新規 △122人(H30)	年5%改善	36.13% (△76人)				

松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる施策の実績

基本目標2 ひとの創生
(2) 学校教育・生涯学習・文化活動などの学びの場を充実させます。

数値目標		国語・算数(数学)の授業が分かると回答する児童生徒の割合			平均80%
基準値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学校児童(H30) (国語76.2%、算数79.4%) 中学校生徒(H30) (国語77.3%、算数78.6%)	未実施				

○ 小・中学校の教育環境の充実を図るとともに、特色のある学校づくりを行います。

- ☆具体的な事業
- 1. 国語、算数、数学における20人以下の少人数指導実践事業(松浦市雇用による臨時的任用講師を配置し、習熟度別少人数指導又はチームティーチングによる指導を充実)
 - 2. 大学生学習サポーター派遣事業(大学と連携した市内小・中学校の授業や放課後の補充学習に大学生を派遣)
 - 3. 学校環境整備事業(ICTや学校図書の充実)
 - 4. 子どもの豊かな体験活動の推進事業(企業見学や職場体験など)
 - 5. 英語を使って簡単なコミュニケーションができる子どもの育成事業

評価指標名	担当課	基準値	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
臨時的任用講師数	学校教育課	中3人(H30)	小3人／年	小中各5人				
国語・算数(数学)の授業が分かると回答する児童生徒の割合	学校教育課	小(国語76.2%、算79.4%) 中(国語77.3%、数78.6%)	80.85%／平均	未実施				
英語力アンケートにおける 小学校「英語で自己紹介できる児童」、中学校「英語で趣味などを話せる生徒」「英検3級レベル程度(国際基準CEFRA1と同程度)の英語力を持つ生徒」	学校教育課	小90%、中76.3% (H30)	90%／平均 小100% 中60%	小98.6% 中25.9%				

○ 長崎県立松浦高等学校の魅力づくりについて、産業界、教育機関、行政等が連携し、地域が一体となって取り組みます。

- ☆具体的な事業
- (松浦高校魅力化プロジェクト)
- 6. 市内中学校及び保護者へのアンケート調査(現在の松高に不足しているもの)
 - 7. 部活動や補習授業へ民間コーチや講師の派遣など
 - 8. 行政と連携した地域の課題解決プログラムの実施
 - 9. 下宿等の費用支援
- (地元企業との連携)
- 10. インターシップの充実
 - 11. 地元企業の魅力発見・魅力体験事業(企業のトップ等による講演会の開催)

評価指標名	担当課	基準値	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
松浦高校入学志願者数	政策企画課	66112人(H30)	120人／年	85人				
インターシップへの参加企業数	地域経済活性化課	29社(H30)	15社／年	未実施 (コロナ防止)				

○ 生涯学習や文化活動を充実させ、田舎ならではのゆっくりした時間・空間において趣味を楽しめる環境づくりに取り組むとともに、郷土愛の醸成に努めます。

- ☆具体的な事業
- 12. 読書活動の推進
 - 13. まつら出前講座の充実
 - 14. 市内の景観を活かした、ウォーキングやジョギングコースの設定
 - 15. 健康づくりに主眼を置いた「ニュースポーツ教室」の促進
 - 16. 市内小・中学校の子どもたちが地域の歴史、文化、伝統行事、地理や産業などを取材し、市報へ掲載する「まちなか子ども記者」コーナーの開設

評価指標名	担当課	基準値	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
図書館利用者数	生涯学習課	40,377人(H30)	45,000人／年	24,466人				
出前講座実施回数	生涯学習課	275回(H30)	300回／年	71回				
ウォーキングやジョギングコースの設定コース数	健康ほけん課	6箇所(H30)	8箇所／5年	8箇所				
市報への「まちなか子ども記者」コーナー掲載数	政策企画課	0回(H30)	6回／年	0回				

松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる施策の実績

基本目標2 ひとの創生

(3) 若者の域外流出に歯止めをかけ、本市への還流を推進します。

数値目標 15歳～44歳までの社会増減数 年5%改善					
基準値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
△122人(H30)	36.13% (△76人)				

○ 地元に残って就職したい、住み続けたいと思う若者やUターン希望者の意向に沿った環境づくりに取り組みます。

- ☆具体的な事業
- 1. 地元企業の就業の場としての魅力発見・魅力体験事業(セミナー・バスツアーなど)
 - 2. 産業界、県内大学、行政が連携した就職情報の発信
 - 3. 1次産業の就業者支援施策の充実と新たな事業を起こすための支援
 - 4. 【再掲】新規雇用に対する支援
 - 5. 【再掲】新生活応援事業(ふるさと就職奨励金、賃貸住宅入居奨励金、新婚生活奨励金など)
 - 6. 【再掲】地場産業や企業の魅力を地域内・外へ発信
 - 7. 【再掲】中学校、高校(近隣を含む)、保護者を対象とした地元企業紹介やインターンシップへの支援
 - 8. 【再掲】合同企業説明会の開催

評価指標名	担当課	基準値	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
セミナー・バスツアーの開催数	地域経済活性化課	10回(H30)	6回／年	8回				
支援策を活用した新規就農者数	農林課	3人(H26)	5人／年	0人				
支援策を活用した新規漁業就業者数	水産課	1人(H30)	5人／5年	1人				
新規雇用者数	地域経済活性化課	166人 (H27～H30)	30名／年	49名				
インターンシップへの参加企業数	地域経済活性化課	29社(H30)	15社／年	未実施 (コロナ防止)				
合同企業説明会参加企業数	地域経済活性化課	14社(H30)	15社／年	12社				
合同企業説明会参加者数	地域経済活性化課	121人 (H27～H30)	100人／年	88名				

松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる施策の実績

基本目標2 ひとの創生

(4) 移住定住、関係人口創出・拡大のための取組を推進します。

数値目標 市外からの転入者数 年3%増加

基準値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
720人(H30)	0.6% (668人)				

○子育て世代や若年層をメインターゲットとした移住支援策を充実させるとともに、県や移住関連機関と連携し、本市の魅力や住みやすさなどの情報を地域外へ発信します。

☆具体的な事業

- 1. 移住ワンストップ窓口の設置
- 2. 空き家を再生した移住お試し住宅の整備
- 3. 空き家情報の発信
- 4. 農山村での農地(耕作放棄地を含む)、ビニール施設等の農業用施設、空き家などを活用した田舎暮らし希望者のニーズに合わせた支援事業
- 5. CCRC(高齢者が健康なうちに入居し、必要に応じて介護や医療のサービスを受けながら、人生最期の時までを過ごせる生活共同体)の検討
- 6. 「ながさき移住サポートセンター」及び西九州させぼ広域都市圏と連携した都市部における移住相談会の実施や住・仕事・魅力の情報発信
- 7. 西九州させぼ広域都市圏と連携した都市部におけるサポーター創出
- 8. 【再掲】1次産業の就業者支援施策の充実と新たな事業を起こすための支援
- 9. 【再掲】住みたい・住み続けたいまちプロモーション事業

評価指標名	担当課	基準値	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
移移住相談会を含む移住相談件数	政策企画課	52人(H30)	100人/年	27人				
移住お試し住宅数	政策企画課	1棟(H30)	1棟	1棟				
移住お試し住宅利用者数	政策企画課	3組(H30)	6組/年	3組				
Uターン・Iターン就農者の育成数	農林課	6人(H27~H30)	2人/年	0人				
支援策を活用した新規就農者数	農林課	8人(H30)	5人/年	0人				
支援策を活用した新規漁業就業者数	水産課	1人(H30)	5人/5年	1人				

松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる施策の実績

基本目標3 まちの創生

(1) 年齢や障害の有無にかかわらず、安心して生活できる地域をつくります。

数値目標 健康寿命 延伸					
基準値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
(H27:男78.34 女82.41)	—				

○ 市民一人一人が自主的に健康課題に取り組むための支援を行い、健康寿命の延伸を図るとともに、誰もが安全・安心な暮らしを実現できるよう、ともに支えあう地域づくりを推進します。

- ☆具体的な事業
- 1. 医療体制の確保(在宅当番医制、夜間輪番体制の維持)
 - 2. 松浦市健診、各種がん検診の充実
 - 3. 市民が主体となって取り組む健康づくり活動への支援
 - 4. 障害者地域生活支援拠点の整備
 - 5. 地域と連携した介護予防地域支え合い事業(生きがいつくり活動事業)の推進
 - 6. 行政と警察、郵便局、新聞販売店などの連携による高齢者見守りネットワークの構築
 - 7. 自主防災組織の設立促進

評価指標名	担当課	基準値	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実施医療機関数の維持	健康ほけん課	10(H30)	10	10機関				
特定健診受診率	健康ほけん課	42.5%(H30)	60%	28.1%				
がん検診受診率	健康ほけん課	胃がん12.2%～ 乳がん31.3% (H30)	各50%	1.4%～7.9%				
健康ポイント事業のポイント達成者数	健康ほけん課	新規	600人／5年	490人/年				
生きがいつくり活動事業数	長寿介護課	30(H30)	50／5年	50				
見守りネットワーク協力事業者数	長寿介護課	20(H30)	20／5年	19				
自主防災組織数	防災課	34(H30)	46／5年	38				

基本目標3 まちの創生

(2) 住宅の確保への支援や既存ストックの活用、インフラの整備など住みやすい環境の整備を行います。

数値目標 転入者による住宅取得奨励制度の活用件数 20棟／5年					
基準値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
27棟(H27～H30)	9棟				

数値目標 空き家の活用件数 10棟／5年間					
基準値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
8棟(H27～H30)	6棟				

○ 定住に結びつきやすい住宅の取得に対して支援を行うとともに、空き家等の既存ストックの活用、西九州自動車道や情報インフラの整備促進、公共交通空白地の解消を行うことによって、住みやすい環境を整備し、近隣都市からの通勤圏として、居住の地に選ばれるまちづくりに取り組みます。

- ☆具体的な事業
- 1. 多世代居住のための住宅整備への支援
 - 2. 老朽危険家屋除去支援事業
 - 3. 西九州自動車道の整備促進
 - 4. 【再掲】住宅や住宅用地の取得奨励制度の推進
 - 5. 【再掲】情報格差解消に向けた情報インフラ整備促進
 - 6. 【再掲】空き家を再生した移住お試し住宅の整備
 - 7. 【再掲】新生活応援事業(ふるさと就職奨励金、賃貸住宅入居奨励金、新婚生活奨励金など)
 - 8. 【再掲】空き家情報の発信

評価指標名	担当課	基準値	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
転入者による住宅取得奨励制度の活用件数	政策企画課	新規	20棟／5年	9棟				
空き家の活用件数	都市計画課	新規	10棟／5年	6棟				
超高速ブロードバンド人口カバー率	総務課	約76%	100%	固定系(離島除く) 100%				

松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる施策の実績

基本目標3 まちの創生

(3) 対話によるまちづくりを推進します。

数値目標		地域運営組織	2組織／5年間			
基準値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
新規	0					

○ 対話によるまちづくりが本市に根付く様、体制整備やその促進のための人づくりにも取り組みます。

☆具体的な事業

- 1. 地域版未来会議
- 2. 地域運営組織の設立促進

評価指標名	担当課	基準値	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
地域運営組織の立ち上げを検討する団体	政策企画課	新規	1団体/年	0団体/年				